

報道機関 各位

2026年2月18日
愛知中小企業家同友会
専務理事 内輪 博之^{うちわ ひろゆき}

高市第2次内閣発足を受けて（専務理事談話）

衆院選を受けて、高市早苗首相が第105代首相に指名されました。第1次内閣の発足から4ヶ月しかたっていないことを踏まえ、全閣僚の再任が見込まれています。山積する課題に対する適切なリーダーシップの発揮を、高市首相はじめ今回発足する新政権に、まずは期待したいと思います。

混迷の時代に立ち、本来なされるべきは「国のあり方、ありたい姿」に向けた国民的議論です。多様な価値観に丁寧に向き合い、国民一人ひとりの暮らしに真に寄り添う、血の通った政治への抜本的転換でもあります。

その意味で一抔の懸念は、先の衆院選で4分の3の議席を得た巨大与党の力です。数の上では「国論を二分する大胆な政策」を思うままに進める力を政権は獲得しています。しかし、選挙の経緯、その内容を吟味すれば、国民が「白紙委任」をしたものではないことは明らかです。現実を謙虚に受け止め、国民的合意形成に心を砕く成熟した議会制民主政治の実践を切実に求めます。同時に、私たち国民一人ひとりが、理性的に政治に向き合うことが求められると考えます。

また、経済の長期停滞、税・社会保障負担の増大、円安、需要拡大なき物価高騰など「積年の病弊」のあらわれに、「責任ある積極財政」が特效薬となり得るかどうかは、慎重な見極めが必要です。日本経済の構造を踏まえれば「円安・債券安・物価高」の懸念がある積極財政政策は、国民生活の困難を深める可能性も拭えません。先行き懸念と閉塞感が日ごとに強まるなか、国民が真に豊かさを実感できる経済社会は、「経済を牽引する力であり、社会の主役」（中小企業憲章）と謳われる中小企業の健全な発展こそが原動力となります。将来を見据えた政策的議論を国民に正しく届けるべく、政権には与野党を問わずひらかれた国会論戦を期待します。

国民が求める経済社会は、平和のもと、すべての人が人間らしく豊かに、そして展望を持って暮らしを営むことができるものです。今後、現行憲法に関わる議論が行われると思われま

す。民主主義のもと、国民の委託によって成立するのが「政権」です。「平和の中でこそ中小企業も国民経済も繁栄できる」という歴史の教訓を謙虚に受け止めた「熟議」を通じ、真の民主主義が国民の目に見えるかたちで実践されることを強く願います。新政権には、国民の本源的願いに誠実に思いを致し、国民的議論を慎重に重ねた上での熟慮と冷静な判断を期待するものです。

.....

愛知中小企業家同友会とは

現在、愛知県下4,400名超の中小企業経営者が参加する異業種の経営者団体で、「経営体質の強化」「経営者の資質の向上」「経営環境の改善」をめざすという「3つの目的」に基づき活動しています。

1. 名称 愛知中小企業家同友会
2. 会員数 4,455名（2026年2月18日現在）
3. 会長 高瀬 喜照（たかせ よしてる） 株式会社高瀬金型 代表取締役社長
4. 事務局 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2階
電話 052-971-2671 FAX 052-971-5406
事務局長 多田 直之
事務局次長（報道担当）八田 剛、事務局次長（政策担当）池内 秀樹